

## 仕様書

この仕様書は、東大阪市消防局が借入れる(以下「消防局という。’)救急活動用感染防止衣、その他必要事項を明示したものであり、本業務の実施にあたっては、これを忠実に履行しなければならない。

### 1 事業名称

東大阪市消防局感染防止衣貸借(5年契約)

### 2 借入期間

令和8年9月1日(火)から令和13年8月31日(日)までの5年間(長期継続契約)  
なお、次年度以降において、当該契約に係る予算が減額又は削除された場合には、当該契約を減額又は解除する場合がある。

### 3 借入場所及び数量

#### (1) 借入場所

消防署を含む分署、出張所※借入場所及び各所属救急隊(別紙1)参照

#### (2) 数量

令和8年9月1日～令和9年3月31日108名分

令和9年4月1日～令和10年3月31日108名分

令和10年4月1日～令和11年3月31日108名分

令和11年4月1日～令和12年3月31日108名分

令和12年4月1日～令和13年3月31日108名分

令和13年4月1日～令和13年8月31日108名分

救急隊員1名当り	感染防止衣上着 3着
----------	------------

### 4 業務内容

消防局が借入れる救急活動用感染防止衣は、救急隊員(以下「隊員という。’)が救急活動時において着用するものであり、隊員の感染防止及び市民への二次感染予防の観点から、感染防止衣の性能維持のため、損耗状態の把握及び補修、クリーニング等、適切な運用を行い、公務の円滑な推進遂行を図ることを目的とする。

#### (1) クリーニングにかかる運用について(回収、配達)

ア. 受注者は、消防局の指定する場所に、毎週2回クリーニングのための回収を行い、その際に前回回収した感染防止衣の配達も行う。感染防止衣の受け渡しは、書面にて着数の確認を行うこと。回収、配達を受渡し場所の詳細については消防局と協議

し、回収、配達にかかる必要な備品は受注者がこれを準備する。回収、配達は受注者の下に適切に実施されることとする。

- イ. 受注者は、配達分の感染防止衣と回収分の感染防止衣が混在しないよう区分して集配を行うこと。
- ウ. 受注者は、感染防止衣を回収後ただちに1着ごとポケットを検査し、ポケット内に貴重品、忘れ物があれば、返却袋等を作り、次回配達日に返却すること。
- エ. 受注者は、感染防止衣に破れ、きず、ほころび等を発見した場合は、その状態に応じて補修または交換を行うこと。また、油性、水性の汚れ、シミは前処理にて除去する等、適切な処理を行うこと。
- オ. 受注者が回収、配達を行う際は、感染防止衣の破損防止のため、感染防止衣のファスナー及びポケットフラップの面ファスナーは全て閉じて実施されること。
- カ. 洗濯は、予洗の洗浄時間を10分、本洗は40℃の湯で20分とする。また、すすぎを3分ずつ2回行い、3回目に抗菌剤、撥水剤を入れて5分すすぐこと。
- キ. 乾燥は、60℃の温風で30分行う。その後、冷風で5分行うこと。
- ク. 仕上げは、感染防止衣をハンガーに掛けて、トンネルフィニッシャーで皺を伸ばすこと。また、その状態に応じてアイロンにて補正を行うこととする。
- ケ. 仕上げの際、感染防止衣のシミ、汚れの有無を確認及びファスナー破損の有無を確認し、不具合があれば、修理、交換を行うこと。
- コ. 仕上げ後は、1着ごとに透明の包装袋にて包装し、未処理品との接触が無いようにすること。
- サ. 受注者が配送する際は、個人の識別が容易に出来るようシール等を作成し、透明の包装袋の上に貼り付けて配送すること。また、配送は受注者が行うとともに、消防局指定場所にて職員立会いの上、感染防止衣の受け渡しをすること。
- シ. 感染防止衣の受け渡しの段階において、感染防止衣の汚れが落ちていないものについては、再度洗濯を行うものとする。

## (2) メンテナンスに関する品質管理について

- ア. 受注者は、感染防止衣の単品検査により、汚れ、損耗、破損及び忘れ物の確認を怠りなく実施し、報告の義務を負うこと。
- イ. 受注者は、洗濯、消毒に関しては、適宜、消防局の要請に対し、仕様を満たしている報告を行うこと。さらに、必要に応じて使用溶剤の提出を行うこと。
- ウ. 受注者は、感染防止衣の品質確認を目的に、1カ月毎に洗濯の実績、破損の状況等を必要に応じて報告をすること。

## (3) 感染防止衣の運用について

- ア. 受注者は、感染防止衣の管理業務を行うための管理用ラベル（バーコード等）を縫着して、使用状況を適切に管理し、個人別の単品管理を行うこと。
- イ. 管理システムは、利用者ごとのクリーニング実績、集荷履歴等を確認できるもの

であり、発注者がインターネットを介して安易に閲覧できること。

また、閲覧制限を持ったログインID等で管理し、不要なアクセスやデータ変更を制御する仕様であること。

ウ. 受注者は、クリーニング後の感染防止衣を回収した署所へ配達すること。回収した感染防止衣の衛生面や紛失防止等の履歴を把握するため、個人別クリーニング使用実績、感染防止衣の破損、交換状況を記したデータを適正に管理し、消防局が必要と認めた時は、消防局にデータを提出すること。

エ. 隊員の人事異動や退職等が発生した場合、速やかに消防局から受注者に連絡すること。受注者は消防局からの連絡に基づき、即座に感染防止衣の補充、回収を行うこと。

なお、人事異動や退職、サイズ変更等で発生した感染防止衣は、検品の後、必要に応じ、補修・クリーニングを実施した上で再利用することが出来る。

オ. 受注者は、履行期間中において、感染防止衣サイズの変更が必要になった場合には、消防局からの連絡に速やかに対応し、補充、回収を行うこと。

カ. 受注者は、感染防止衣が破損、損耗した場合、随時、新品もしくは使用可能な感染防止衣と交換しなければならない。

キ. 受注者は、各履行場所には予備在庫を保管し、不測の事態が発生した場合においても、救急業務に支障をきたすことのないよう対応すること。

なお、感染防止衣の必要総数は、消防局との協議により決定することとする。

#### (4) 感染防止衣の管理方法について

ア. 受注者は、感染防止衣の品質（衛生、清潔、安全）を確保するために、感染防止衣の定期的な単品検査とクリーニングを行うこと。

また、業務上発生した破損、汚れは適宜対応し、欠品が起きないように維持、管理すること。

イ. 着用中の感染防止衣、あるいは消防隊員保管の感染防止衣の管理、保管の責任は消防局にあることとするが、回収した感染防止衣とクリーニング預かりの感染防止衣については、受注者に管理、保管の責任があることとする。

ウ. 受注者は、感染防止衣を廃棄する場合については、消防局担当者に廃棄する旨を連絡し、指示を受けた後、適切に廃棄すること。

#### (5) その他

ア. 感染防止衣の初回納品に関しては、準備期間として契約開始日から猶予期間を与えるものとする。なお請求に関しては納品完了の翌月から発生するものとする。

イ. 感染防止衣の上記以外の問題で疑義が生じた場合は、ただちに消防局と協議し、解決すること。

## 別紙 1

## 借入場所及び各所属救急隊

	救急隊 (署所名)	住 所	電話番号
1	東救急隊 (東本署)	東大阪市鳥居町 3 番 3 号	072-983-0119
2	四条救急隊 (四条分署)	東大阪市南四条町 1 番 6 号	072-987-6894
3	布市救急隊 (布市出張所)	東大阪市布市町四丁目 3 番 6 号	072-981-4666
4	中救急隊 中第 2 救急隊 (中本署)	東大阪市稲葉一丁目 1 番 9 号	072-966-0119
5	北部救急隊 (北部分署)	東大阪市南鴻池町二丁目 9 番 2 0 号	06-6745-6318
6	西救急隊 西第 2 救急隊 西第 3 救急隊 (西本署)	東大阪市御厨栄町三丁目 1 番 4 1 号	06-6788-0119
7	布施救急隊 (布施分署)	東大阪市荒川二丁目 1 5 番 1 2 号	06-6730-8119
8	楠根救急隊 (楠根出張所)	東大阪市稲田本町二丁目 5 番 1 0 号	06-6745-8690
9	大蓮救急隊 (大蓮出張所)	東大阪市大蓮東二丁目 1 6 番 2 6 号	06-6729-2560

# リユースタイプ感染防止衣（上衣）仕様書

## 1 感染防止衣＜上衣＞の仕様について（別図1参照）

### A. 上衣 総則

前中央開き長袖ラグランジャンパー型の上着とする。前身頃と後身頃、並びに両腕には反射材を縫着し、消防局の指定する標識（文字入りプリント生地）を指定の箇所（右胸と背中）に縫い付けることとする。

#### (1) サイズ

感染防止衣のサイズは、＜S、M、L、LL、3L、4L＞の6種類とする。（別図3-1参照）

#### (2) 形式

2色使いとし、前身頃、後身頃とも、切り返しの上部を濃色（B色）、下部を薄い色（A色）使いのデザインとする。襟は1枚襟とし、前開きファスナー仕様の前立て付きとする。袖はラグラン型で、上袖下袖切り返しの2色使いとする。前身頃には左に胸ポケット、両脇にはマチ付き（B色）のアウトポケットを付ける。背ヨークその他指定の箇所には規定の反射材を縫い付ける。裾は全体に帯式とし、後身頃にはゴムを入れたシャーリング仕立てとする。

#### (3) 縫製状態

- ア. 各部の縫合は、ミシンの目飛び及び縫いはずれの無いよう、優良に仕上げること。
- イ. 縫い代は、各部分に適した量を充分にとること。
- ウ. 糸調子を優良に合わせ、パッカリング、縫い曲がりを防止すること。
- エ. 縫い始め、縫い終わりには返し針を施すこと。
- オ. 地の目を通し、各パーツの縫い合わせにずれが無いように注意すること。

#### (4) 縫製各部

##### ア. 襟（B色）

後襟中心の部位で幅は6cmとし、全体に6mmのステッチを付ける。ファスナー止まりの上端部は面ファスナー止めとする。襟の表裏には指定の接着芯を貼り、中には指定のフラシ芯を入れること。

##### イ. 前たて（B色）

指定の芯を張り、左右両端に指定のパイピングを縫い込む。前たて幅は5.5cmとし6mmのステッチをかける。上端は面ファスナー止めとし、下端にかけて、所定の位置に同様の面ファスナーを縫い付けること。

##### ウ. 上前身頃（2色使い）（別図1参照）

上前身頃には指定の反射材を縫い付け、袖付け部分は指定のパイピング仕立てとす

る。胸の部分に天蓋付き切り込みポケットと胸ループ（無線機装着）を縫いつける。脇にはマチ付き（B色）の天蓋付きアウトポケットを縫い付ける。ポケット各部の寸法は別図2参照。内側の左脇縫い合わせ部分、指定の位置に「品質表示片布」並びに「SEK赤マーク」を縫い付けること。

#### エ. 下前身頃（2色使い）

上前身頃に合わせて指定の反射材を縫い付け、袖付け部分は、指定のパイピング仕立てとする。B色胸の指定の位置には「東大阪市消防局」小のワッペンを縫い付ける（別図1参照）。脇には、上前身頃と同じ脇ポケットを縫い付けること。ポケット各部寸法は別図2参照。

#### オ. 上袖（B色）下袖（A色）

2枚袖のラグラン型で、上袖はB色、下袖はA色の配色使いとする。左袖の上袖部分にはB色のペン指しを付け、口には滑り止めテープを縫い付ける（別図2参照）。指定の反射布を上袖部分に縫い付ける。袖口には平ゴムを入れて、中央をミシンでたたくこと。両袖下部（反射布下部～袖口）については、3枚仕立てとする（別図1参照）

#### カ. 背ヨーク（B色）

背ヨークは1枚裁ちとし、背中央切り返しの部分には規定の反射材を縫い付ける（別図1参照）。また、指定の位置には「東大阪市消防局」大のワッペンを縫い付ける（別図1参照）。内側の襟の下、中央部分にはバーコードとサイズ片布を縫い付けること。インナーベスト止めのゴムループを適所に縫着する。

#### キ. 後身頃全体（2色使い）

濃紺（B色）と薄ブルー（A色）の2色使いとする。左右袖付け部分は、指定のパイピング使いとする。裾（B色）は5cm幅のシャーリング付きベルトを縫着する。（別図1参照）

#### ク. 見返し（A色）

前身頃左右に指定の芯地を張った身返しをつける。

#### (5) その他

感染防止衣の上記以外の問題で疑義が生じた場合は、ただちに消防局と協議し、解決すること。

#### (6) 標識（ワッペン）

感染防止衣と同じ素材（撥水加工無し）を使用し、右胸に「東大阪市消防局」の文字を1段にしてプリント小ワッペン、背中には「HIGASHIOSAKA CITY」と「東大阪市消防局」の文字を2段にして、プリント大ワッペンを指定の位置に縫い付けること。なお、標識のデザイン、寸法、縫い付け位置、仕立て方法は別図4-1、4-2の制作方法とする。

## 2 感染防止衣材料規格

### (1) 表生地規格

項目	規格		検査方法
色相	2色使い<薄ブルーB色・濃ブルーA色>		
組織	平織(二重織)		
品質	ポリエステル100% (白色導電性繊維1cm間隔含)		
生機幅	150cm以上		JIS L 1096 A 法片耳落とし
仕上がり密度	タテ	148本/in以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	123本/in以上	JIS L 1096 A 法
織度	タテ	84Dtex / 110Dtex (導電糸 22Dtex)	
	ヨコ	84Dtex / 110Dtex	
重量		125±10g/m <sup>2</sup>	JIS L 1096 A 法
染色堅牢度	洗濯汚染	濃色 3-4級 淡色 4級	JIS L 0844 A-2 法
	乾摩擦	乾濃色 3-4級 淡色 4級	JIS L 0849 学振型
	湿摩擦	湿濃色 3級 淡色 4級	
	汗(酸・アルカリ)	濃色 3-4級 淡色 4級	JIS L 0848
引裂強力	タテ・ヨコ	45N以上/45N以上	JIS L 1096 D 法
縫目滑脱	タテ・ヨコ	3mm以下/3mm以下	JIS L 1096 B 法 117.7N
通気度		100cc/c m <sup>2</sup> ・s以上	JIS L 1096 A 法
撥水度	初期	4以上	JIS L 1092 スプレー法
	50回洗濯後	3以上	JIS L 1092 スプレー法 洗濯処理は JIS L 0217 洗い方番号 103、吊り干し
制菌加工		「SEK 赤」取得 特定用途	SEK 特定用途

### (2) 反射布規格

項目	規格		検査報告
品名	反射テープ <sup>®</sup>		
品番	CSM500		
色相	シルバー(再帰性反射材)		
組織	平織(オックスフォード <sup>®</sup> )		
品質	ポリエステル/綿(65%/35%)		
耐久試験項目			
洗濯性	洗濯後	250cd/lux/m <sup>2</sup> 以上	JIS L1930 5回
ドライクリーニング	ドライクリーニング後	100cd/lux/m <sup>2</sup> 以上	JIS T1931-3 5回
低温曲げ	低温曲げ試験後	100cd/lux/m <sup>2</sup> 以上	JIS K6404-3 11.2 A法 -20±2℃4時間
温度変化耐性	温度変化耐性試験後	100cd/lux/m <sup>2</sup> 以上	JIS T8127 50℃±2℃12時間 -30℃±2℃20時間

摩 擦	摩擦試験後	100cd/lux/m <sup>2</sup> 以上	JIS L1096 8.19.5 E法 5,000回
屈 曲	屈曲試験後	100cd/lux/m <sup>2</sup> 以上	ISO7854 : 1995 A法/7,500回
反射性能 (反射輝度)	初期反射性能		JIS Z9117 (12' / 5°)
	入射角	cd/lux/m <sup>2</sup>	測定方法 EN ISO 20471
	5°	380cd/lux/m <sup>2</sup>	
	20°	340cd/lux/m <sup>2</sup>	
	30°	300cd/lux/m <sup>2</sup>	
	40°	240cd/lux/m <sup>2</sup>	

### (3) 防水生地規格

項 目	規 格	備 考
品 質	ポリエステル 100%	
品 名	防水素材	
糸番手	84Dtex × 84Dtex	
目付け (重量)	100g/m <sup>2</sup> 平均	

### (4) 標識 (別図4-1、4-2参照)

感染防止衣材料規格 (1) 表生地に準じる。

なお、標識にかかる芯地については、次のとおり。

#### 芯地-1 (接着芯)

品名・規格	接着芯 ポリエステル 100%
	3GF35

#### 芯地-2 (フラシ芯)

品名・規格	ヒートハイボン (不織布) ポリエステル 80% ビニロン 20%
品 番	2870P

### (5) 上衣メッシュ

ポリエステル 100% のものを使用すること。

### (6) その他の副資材の材料

項 目	品 番	規 格
襟 芯 地	3GF35 カラー Y	122 cm幅
襟フラシ芯地	S2000	サイズに合わせる
フロントファスナー	5CNF-OR-DA 8 LH/E C/#920	サイズに合わせる
ギャザーゴム	16000 白ハロン	45mm 幅
その他、品質表示・サイズネーム・バーコード、SEK 赤マーク		

3 提出書類について<消防局の必要に応じて、以下の書類の提出に応じる事>

(1) 証明書の提出

- ア 感染防止衣表生地製造メーカーからの「品質並びに出荷済証明書」
- イ 使用する洗濯工場の案内書
- ウ 指定する付属手配メーカーの「品質並びに出荷済証明書」

(2) 工程表の提出

契約締結後における各種資料

- ア. 工程表（検査予定日を明記すること）
  - イ. 縫製工場の概要書（工場名、所在地及び事業報告書など）
- なお、消防局の要求がある場合は、中間検査を随時受け入れること。

(3) 材料見本等の提出

契約締結後は、必要に応じて本仕様書に適合する材料の一式をサンプルとして提出する。

(4) その他

仕様並びに納入に関して疑義の有る場合は、消防局に必ず確認し、了承を得ること。

4 その他

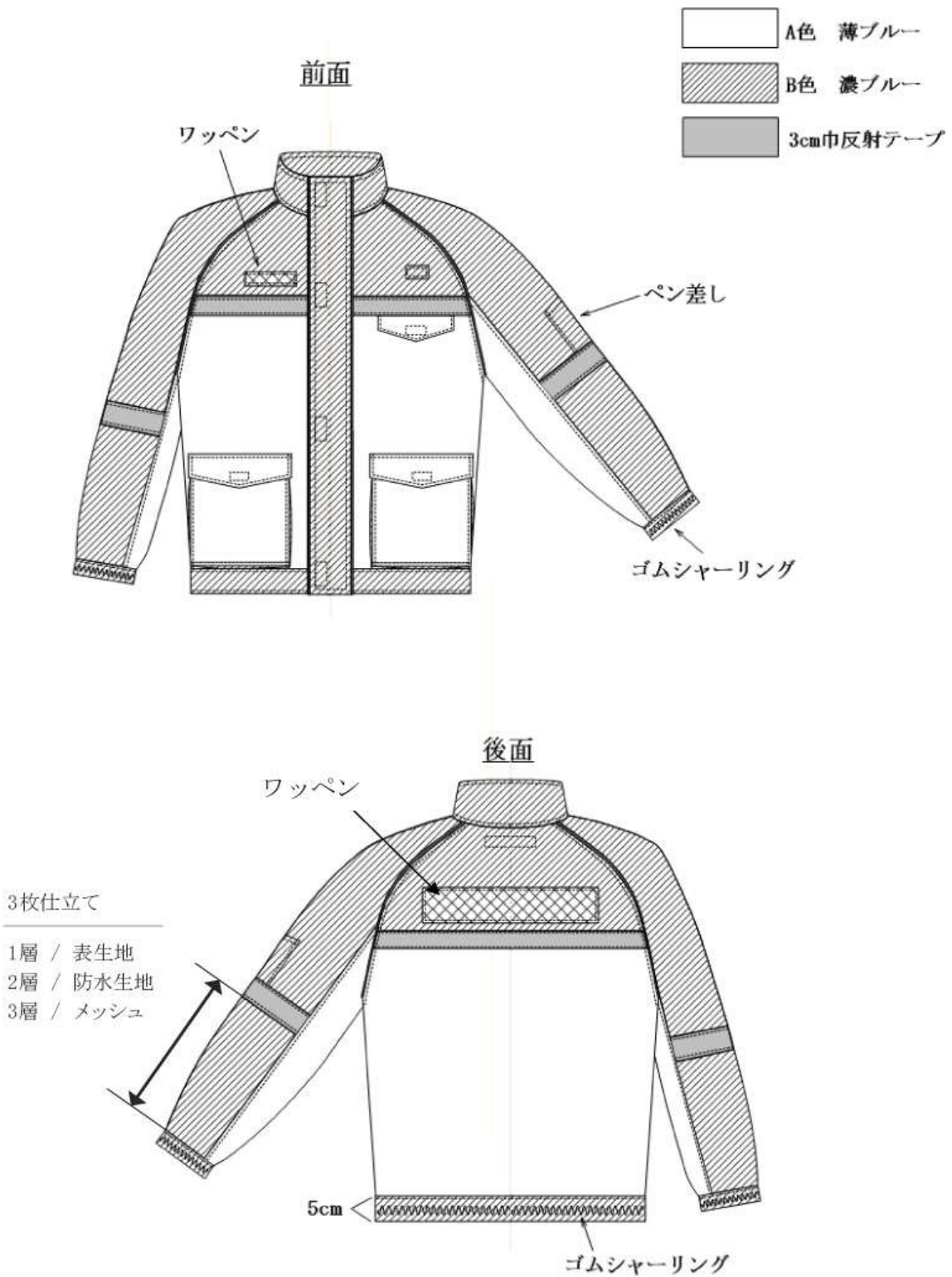
(1) 契約にあたっては、本仕様書を十分に検討し疑義のある場合は、質問期間内に指定の方法により質問し、その内容を熟知のうえ契約すること。

なお、契約後における仕様書上の疑義は消防局の解釈によるものとする。

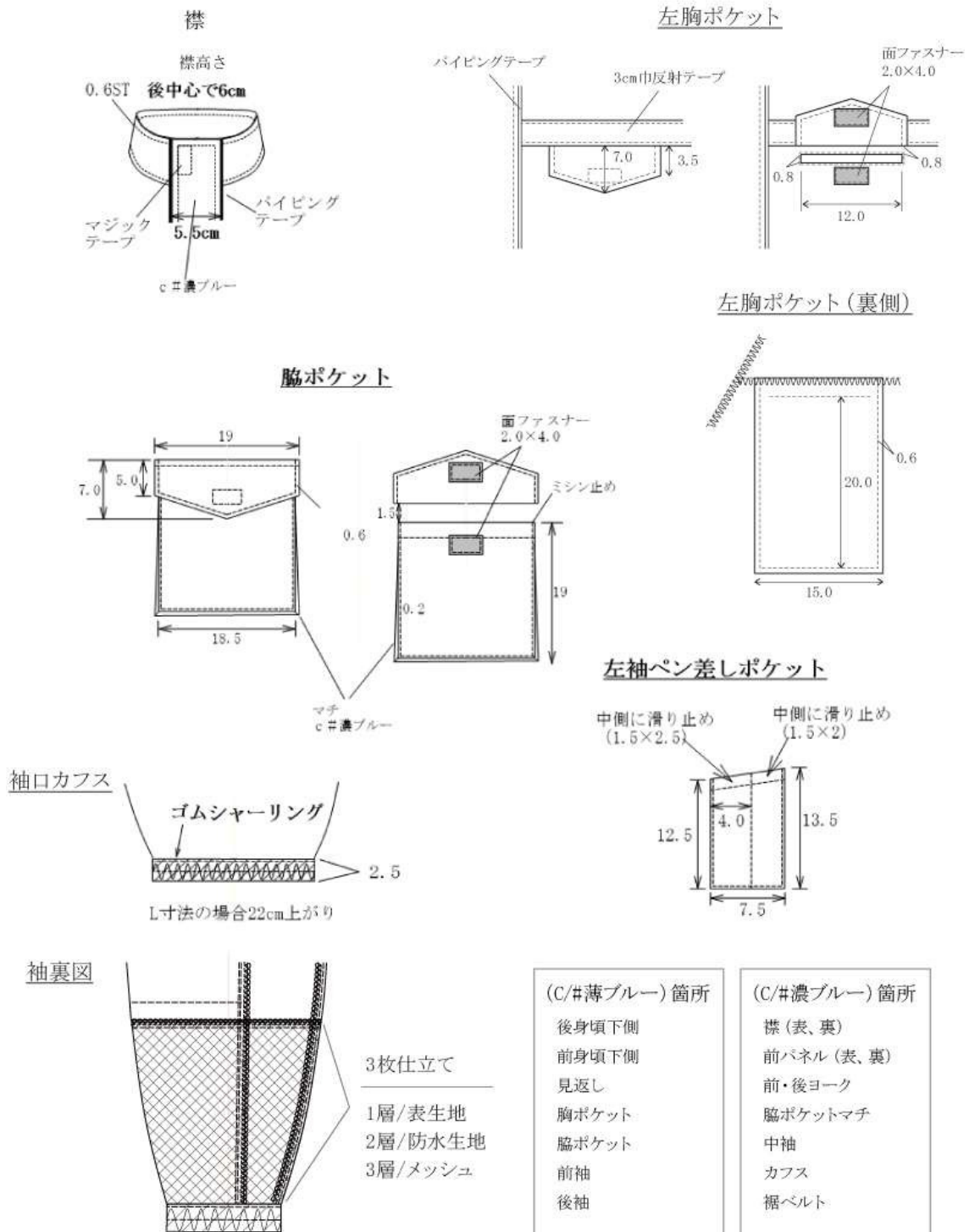
(2) 消防局の責に帰すべき事由により受注者所有物品の全部または一部を滅失またはき損したときは、当該滅失またはき損による物品の損害額に相当する金額を損害賠償として、受注者に支払わなければならない。ただし、消防局が物品を原状に回復したときは、この限りではない。

(3) 受注者の責に帰すべき事由により消防局所有物品の全部または一部を滅失またはき損したときは、当該滅失またはき損による物品の損害額に相当する金額を損害賠償として、消防局に支払わなければならない。ただし、受注者が物品を原状に回復したときは、この限りではない。

別図 1



別図 2



別図3

感染防止衣<上衣>サイズ規格表

仕上がり寸法；単位 cm

	着丈	バスト	肩幅 (参考)	袖丈 (参考)	衿丈
S	66	115	51.5	58	84.5
M	68	121	53.7	59	86.5
L	70	127	55.8	61	89.5
LL	72	133	58	62	91.5
3L	74	139	60.1	63	93.5
4L	76	145	62.3	63	94.5

別図 4 - 1

東大阪市消防局プリントワッペン

この仕様書は、東大阪市消防局が採用する、令和 7 年度救急活動用防止衣上衣（以下「感染防止衣上衣」という。）に使用するワッペンの製作並びに縫い付けについてその諸条件を定めたものである。

1 形式

右胸用に「東大阪市消防局」の文字、背中用にも同デザインの「東大阪市消防局」の文字をプリントした生地には芯地を貼り、中にフラシ芯を入れて、縫いはずれ、縫い曲がりの無いように指定の位置に縫い付けること。

なお、デザイン、寸法及び縫い付け箇所は別図 4 - 2 下部の通りとする。

2 素材・材料

表生地

項目	規格	検査方法
組織	平織り	
品質	ポリエステル 100% (導電糸含む)	
仕上がり密度	タテ 148 本/in 以上 ヨコ 123 本/in 以上	JIS L 1096 A 法
織度	タテ・ヨコ共 84Dtex /110Dtex	
重量	125±10 g /m <sup>2</sup>	JIS L 1096 A 法
通気度	100cc / c m <sup>2</sup> ・s 以上	JIS L 1096 B 法 117.7N
制菌加工	SEK 赤 特定用途合格レベル	SEK 特定用途

芯地-1 (接着芯)

品名・規格	接着芯 ポリエステル 100%
品番	3G F 35

芯地-2 (フラシ芯)

品名・規格	ヒートハイボン (不織布) ポリエステル 80% ビニロン 20%
品番	2870P

別図4-2

東大阪市消防局のワッペンデザイン画像

